

## 訓練 I 手順書

### 訓練 I (40分)

(1) 集合場所：体育館前ピロティ

#### (2) 訓練項目

ア 避難者受付訓練	(25分)	場所：体育館前ピロティ
イ 特設公衆電話設置状況確認	(8分)	場所：体育館前ピロティ
ウ アマチュア無線の展示	(4分)	場所：校庭
エ ペット用テントの展示	(3分)	場所：校庭

#### (3) 訓練詳細

ア 避難者受付訓練 (25分)

##### 読み原

ここでは、避難者受付訓練を行った後に特設公衆電話とアマチュア無線の確認を実施します。

まず、避難者の受付の実施要領を説明します。

避難者には、順番に「避難者カード」を記載してもらい、その状況に応じて受付担当者が、避難者の避難する場所を指示します。

まず、必ず確認していただきたいのは「自宅に被害がなく在宅避難が可能な避難者」は在宅避難を勧めてください。

自宅に被害が発生して在宅避難ができない方については地域防災拠点での受け入れとなります。

中田中学校で避難生活を送る場所は大きく4つあります。

第一に、風邪等の症状がある方が避難生活を送る「金木工室」です。

第二に、女性と子供が避難生活を送る「格技場」です。こちらは避難所での性犯罪等の発生防止の観点から原則男性の立ち入りを禁止としています。

第三に、要援護者の方が避難生活を送る「地域交流室」です。

最後に、上記以外の方が避難生活を送る「体育館」です。

これらを避難者ごとに振り分けて管理していただくこととなりますので、これから避難者役と受付役に分かれて訓練を実施していただきます。

なお、新型コロナウイルスの5類化により、感染症対策等は必要に応じて実施している状況ですのでご承知おきを願います。それでは、これから訓練に移りますので、2班に分かれて行いたいと思います。

※何らかの形で2班に分ける。

A班は、このまま、受付役で訓練をお願いします。

B班は、正門付近に移動して避難者になり受付訓練を実施します。

おおむね10分程度で班を交代します。それではよろしく願います。

##### 訓練の実施要領

一般者受付を実施

時間内に役割を入れ替えて実施

##### 【役割分担】

誘導・避難者カード配布役 (2名)、受付役 (5名)、

避難者役一般 (5~10名)、ペットあり (1名)、要介護者 (2名)

※終了後 イに移行します。

イ 特設公衆電話設置状況確認 (8分)

**読み原 (参考)**

ここでは、特設公衆電話の説明を行います。

特設公衆電話とは、災害時にNTTが被災地の避難所に臨時に設置する公衆電話で、無料で使用することができます。災害等により、地域防災拠点に避難した方などが、家族等の安否確認を行うことができるようにすることを目的としています

※設定方法、保管場所等について説明する。

※終了後ウへ移動します。

**ウ アマチュア無線の展示 (4分)**

**読み原 (参考)**

ここでは、アマチュア無線の確認を実施します。

説明は、アマチュア無線協会泉支部川畑会長におまかせします。よろしくお願いします。

**エ ペット用テントの展示 (3分)**

**読み原 (参考)**

ここでは、ペット用テントの設置を確認します。




説明は、生活衛生課岩月係長におまかせします。よろしくお願いします。

※時間余れば質問タイム

※終了後、訓練2に移行。集合場所は格技場内です。

**(4) 片付け (最終組の時)**

最終組終了後、最終組の協力のもとやれる範囲で片付けを行います。

- ・ 備品取りまとめ  備蓄庫前にまとめる
- ・ ペット用テント  畳んでその場
- ・ 机、記載台  畳んでその場

※まだ片付けが終わってない班がありましたら、お手伝い願います。

## 訓練2手順書

### 訓練2 (40分)

#### (1) 集合場所

格技場(玄関から靴を脱いで入ります。)

#### (2) 訓練項目

- ア 格技場レイアウトの説明 (10分)
- イ 体育館区割りスペース体験 (15分)
- ウ 備蓄品受け渡し体験 (10分)
- ※移動時間 (5分)

#### (3) 説明

##### 格技場説明読み原 (10分)

訓練2では、実災害時の格技場の区割りの体験を行い、その後体育館に移動し体育館の区割り体験、備蓄品受け渡し体験をしてもらいます。

格技場では、格技場の区割りについて体験してもらいます。格技場は避難所での性犯罪等の発生防止の観点から原則男性の立ち入りを禁止としています。男性は、格技場に避難した方の家族であれば昼間のみ面会可能としています。夜間は男性については家族でも格技場内に入ることはできません。また、格技場を夜間施錠することや格技場に至る橋から男性を進入禁止にするなどにより、安全性を高める工夫をしています。

格技場内部には、トイレがあることで外に出る必要がないことや、更衣室や物置などの個室が複数あるためプライバシーの確保がとりやすい状況です。また、格技場の床面には畳を敷くことができるため、比較的過ごしやすい環境になっています。

しかしながらご覧のとおり避難スペースに限りがありますので出来るだけ在宅避難をお願いすることと、満杯になったときは性犯罪に巻き込まれやすい若年の方、または妊婦、乳幼児連れ等を優先していただくよう配慮する必要があります。

※参加者に体験してもらう。

※終了後、体育館内に移動(靴を脱ぐ)して区割りの説明に移行する

##### 体育館区割り体験読み原 (15分)

コロナ以前の体育館は、すし詰め状態で被災生活を送ることを想定していましたが、現在は、コロナで培った感染症への対応を踏まえた運営が求められるようになったことから避難者同士の間隔を少なくとも1m空けるように推奨されています。今回も、一世帯ごとにスペースを確保するようなレイアウトとなっています。

また、過去の被災地での課題をもとに、今回の格技場のように男女のエリア分けや、介護が必要な方のエリアなど、様々なニーズに対応するように区割りを作成することが求められています。

なお、今日の区割りはあくまでもモデルです。

なぜかという今日のように区割りを作っても、その通りに避難者が来るとも限らないからです。

どのような順番で避難者が来ても対応できるような柔軟な区割りが必要となります。方法としては、単身エリアや家族エリアのスタート地点を定めておいて人数に応じてエリアを広げられるように目印をつけておくことです。

今日の区割りで行くと1m×2mの区割りが単身エリアです。

4m×2mの区割りは4人世帯を想定したエリアです。

2m×2mの区割りは2人世帯を想定したエリアです。

間仕切りパーテーションは、おむつを替えたり、介護等で人目を配慮する必要がある方を対象として使用することを想定しています。

簡易テントやポップアップテントは更衣室などで使用する予定です。  
※体験してもらう

#### **備蓄品受け渡し体験読み原（10分）**

最後に備蓄品の受け渡し体験を行います。避難生活が進んでいくと避難者に対して食糧や物資を受け渡すこととなります。ここでは、その備蓄品や物資を仮置きする体育館ステージ上からステージ下にいる避難者に物資を渡す体験を行います。これから2班に分かれて渡す役と、渡される役を体験していただきます。よろしくお願いいたします。

#### **(4) まとめ(1分)**

##### **読み原**

本日本験してもらって感じていると思いますが、一人一人のスペースが非常に狭いこと、またプライバシー確保は非常に難しいことがお判りいただけたと思います。また、災害時という非常事態の中での生活は通常では想像できないほどのストレスが予想されますので、ベストはご自宅での被災生活です。ご自宅の備えをよろしくお願いいたします。

※終了後次の訓練3に移行する。集合場所は職員玄関前です。

#### **(5) 片付け（最終組の時）**

最終組終了後、最終組の協力のもとやれる範囲で片付けを行います。

- ・シートはがし
- ・段ボールベットの撤収
- ・プライベートテントの撤収
- ・表示の取り外し
- ・備品の取りまとめ

撤収したものはその場にまとめて置いてください。

※まだ片付けが終わってない班がありましたら、お手伝い願います。

## 訓練3 手順書

### 訓練3 (40分)

(1) 集合場所：職員玄関前

(2) 訓練項目

- ア 校内の区割確認 (事前説明5分) (校内確認15分)  
イ トイレ対策訓練 (校内) (10分)  
ウ ハマッコトイレ展示 (10分移動時間込み)

(3) 準備

- ・ 見学のルートは、図のとおりです。
- ・ 見学の際は、靴を脱いで、学校に入ります。(土足厳禁)

(4) 説明

#### 校舎に入る前の事前説明読み原 (5分)

校舎内は、高齢者、障害者、感染症などの症状がある人等に配慮したスペースを確保しています。

高齢者等の要介護者室については、介護のしやすいように段ボールベットを配置

有症状者については、個人ごとに症状が異なるため、感染拡大を考慮しプライベートテントを使用しています。

また、学校再開を考慮し、使用しない教室やエリアに立ち入られないように表示を行います。

実災害時には、今日設置している部屋以外に、必要に応じて教室を開放して対応していくこととなります。

#### 【トイレ】

トイレについては、トイレの使い方の表示を行います。

使い方の表示の種類については、「断水中」、「使用禁止」、「トイレパックの説明」、「使用上の注意事項」などがあります。

土足で使用しないようにトイレ専用のサンダルを使用します。

トイレは大勢の人が使用するため、普段以上に衛生面の配慮が必要となります。

清潔な環境を維持することで、ノロウイルス感染症などの二次被害を抑制することができます。

トイレの衛生管理は、被災者の命を守ることに直結するため、水や食料の確保と同様に、拠点開設時から取り組む必要があります。

#### 【注意事項】

それでは、これから、実際に校舎の中に入って見学をしてもらいます。

校舎内は土足厳禁ですので靴を脱いで見学してもらいます。

#### 校内回りながらの説明読み原 (25分)

ア 本部運営室、(PTA 会議室)

主に運営に携わる人が使用し、運営会議を行ったりすることを想定しています。

イ 要援護者用 (地域交流室)

地域交流室は、人の手が必要な方または床での生活が困難な方を中心に使用することとなります。ですので、ここでは、段ボールベットを活用した部屋の構成となっています。

避難所内で介護の対応ができない・もっと手厚い福祉サービスを必要とする場合は、区の保健活動グループが必要性を判断した後、福祉避難所 (区内の福祉施設) に移動す

ることになります。

### ウ IFトイレ（来賓職員 WC）

ここのトイレは使用できるトイレと想定しています。

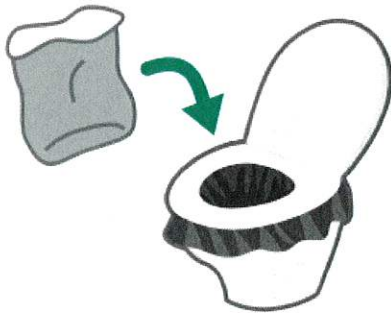
全体説明でもお話ししましたが、トイレは土足厳禁ですので、専用のサンダルに履き替えて使用します。使用後は手洗い+消毒をして、衛生管理を徹底します。

※トイレパックの説明と取り扱い訓練を実施

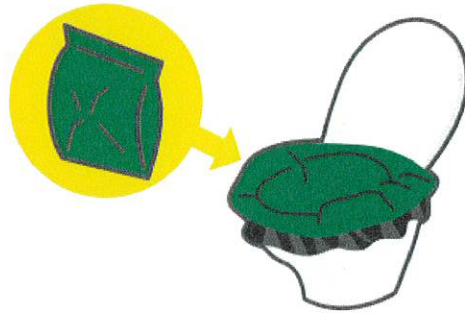
#### 【トイレパックの手順】

- ア 各班へ水1缶、凝固剤、ビニール袋を配布
- イ 簡易便座へビニール袋をかぶせる。
- ウ ビニール袋に水を入れる
- エ 凝固剤を入れる。
- オ 固まったらビニール袋の口をしっかり縛って廃棄する。

- 1** 便座をあげて便器にゴミ袋（45リットル）をかぶせます。



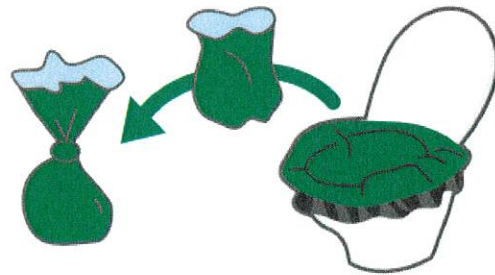
- 2** 便座をおろし、トイレパックの袋をかぶせます。



- 3** 用を足したら、付属の凝固剤を振りかけます。  
※あらかじめ給水シートが袋にセットされたタイプもあります。



- 4** トイレパックだけを外し、口を縛り、他のごみと分けて燃やすごみとして捨てます。



### エ 使用できない部屋

学校の状況によっては使用できない部屋も多くあります。そのため、誰でもわかるよう立入禁止といった貼り紙やテープを用います。

### オ 救護室（保健室）

こちらは、ケガなど応急処置をするための部屋です。そのため外からも入れる教室を選択しています。

#### カ 有症状者用（金木工室）

こちらは風邪や感染症の疑いがある方のスペースです。本館から離れた場所に位置するため感染リスクは減らせますが、トイレが近くにならないことや体育館等の避難者の多くが過ごす場所と離れているので、ケアが必要になります。

また、有症状者の症状も個人により異なることが予測されますので、より感染症を考慮して、1人用のプライベートテントを活用して対策を行っています。

#### キ まとめ

以上で校舎内の区割り案内は終了です。ポイントは、「一般の避難者と症状のある避難者の動線・生活スペースを分けること」と「配慮が必要な方には専用のスペースを用意すること」になります。

あらかじめ教室の使用目的を決めていますが、災害の規模によっては使えないことや足りないことが想定されます。その際には学校と調整した上で、二つのポイントをクリアできるようにする必要があります。

それでは、プール前に移動しますので素早い移動をよろしくお願いします。

※終了後、プール前に移動しハマッコトイレの説明に移行する

#### ハマッコトイレ読み原（8分）

ここではハマッコトイレの設定方法を確認してもらいます。ハマッコトイレは下水道直結式の仮設トイレです。学校のトイレが壊れているなどして使えない場合や、トイレが足りない場合に設定して使用します。保管場所は5番倉庫でこちらにあるマンホールに設定する形になります（以後必要な説明や体験をしてください。）

※終了後は訓練4に移行する。集合場所は1番倉庫前

#### （5）片付け（最終組の時）

最終組終了後、最終組の協力のもとやれる範囲で片付けを行います。

- ・段ボールベットの撤収
- ・プライベートテントの撤収
- ・表示の取り外し（教室の表示、立入禁止、立入禁止テープ）
- ・備品の取りまとめ

撤収したものは備蓄庫前にまとめて置いてください。

使用した机はそのままです。

※まだ片付けが終わってない班がありましたら、お手伝い願います。

## 訓練4 手順書

### 訓練4 (40分)

(1) 集合場所：1番倉庫

(2) 訓練項目

- ア 投光器、発電機の取り扱い (5分)
- イ 備蓄倉庫の確認 (5分)
- ウ 応急給水訓練 (30分)

(3) 訓練実施

- ア 投光器、発電機の取り扱い  
投光器、発電機の説明
- イ 備蓄倉庫の確認  
備蓄資機材の説明と備蓄庫内の確認

#### 説明読み原

備蓄庫内には、本部運営の資機材、生活物資（トイレ、おむつ、生理用品、炊飯器具など）、食料物資、救助のための道具が入っています。

備蓄庫の物資については、毎年運営員会のメンバーで数量チェックを実施し管理をしています。

備蓄庫内の資機材の配置は、手前側が発災当初から使用するもの奥に行くにつれて後から必要になってくるものというように順番を決めて収納しています。

※終了後3番倉庫付近へ移動

ウ 応急給水訓練

水道局職員による応急給水装置の組み立てと、開設方法の展示説明です

※訓練終了後、訓練1に移行します。集合場所は体育館前ピロティです。

(4) 片付け（最終組の時）

最終組終了後、最終組の協力のもとやれる範囲で片付けを行います。

- ・投光器、発電機撤収

撤収したものは備蓄庫前に置いてください。

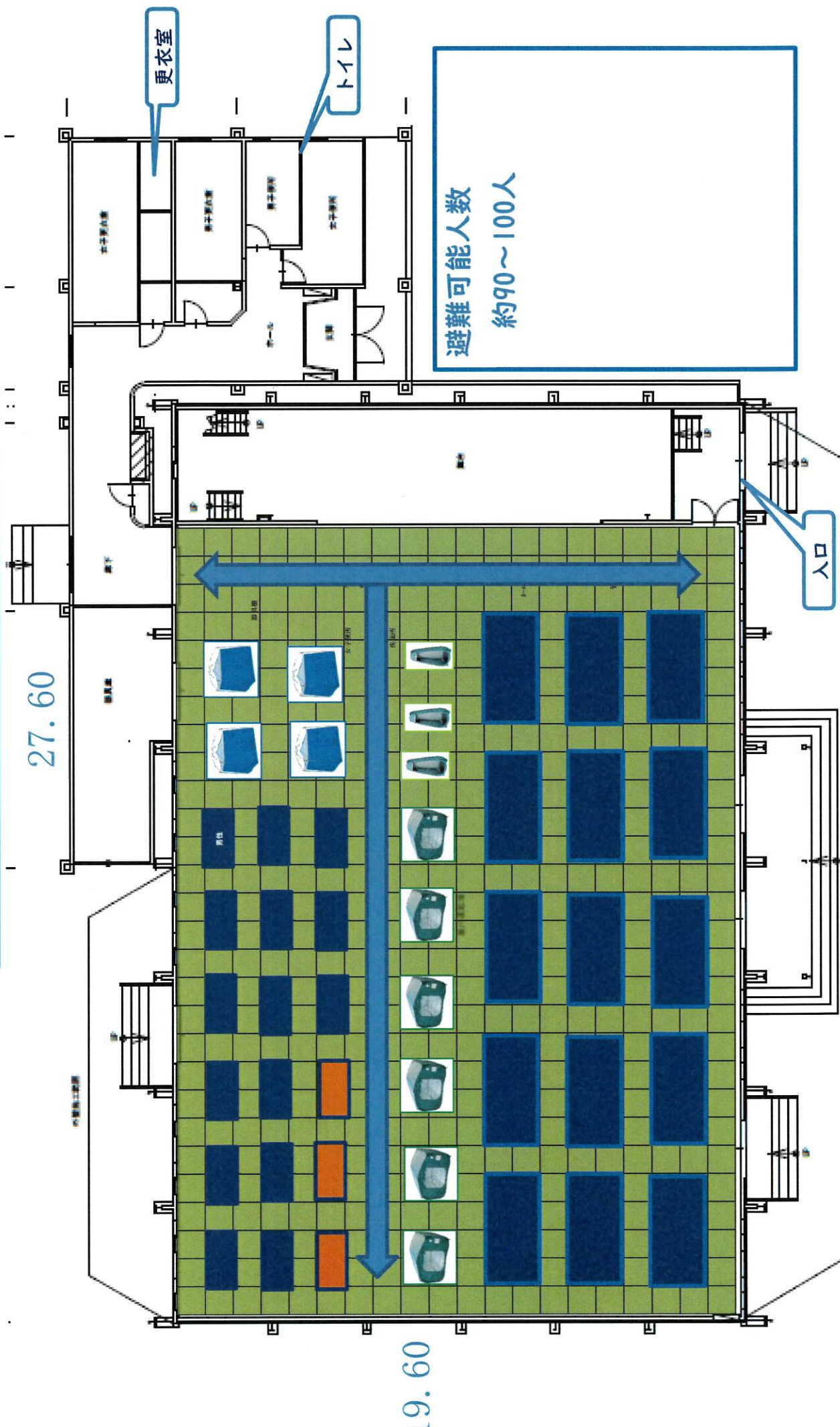
※まだ片付けが終わってない班がありましたら、お手伝い願います。





540m<sup>2</sup>

# 体育館レイアウト

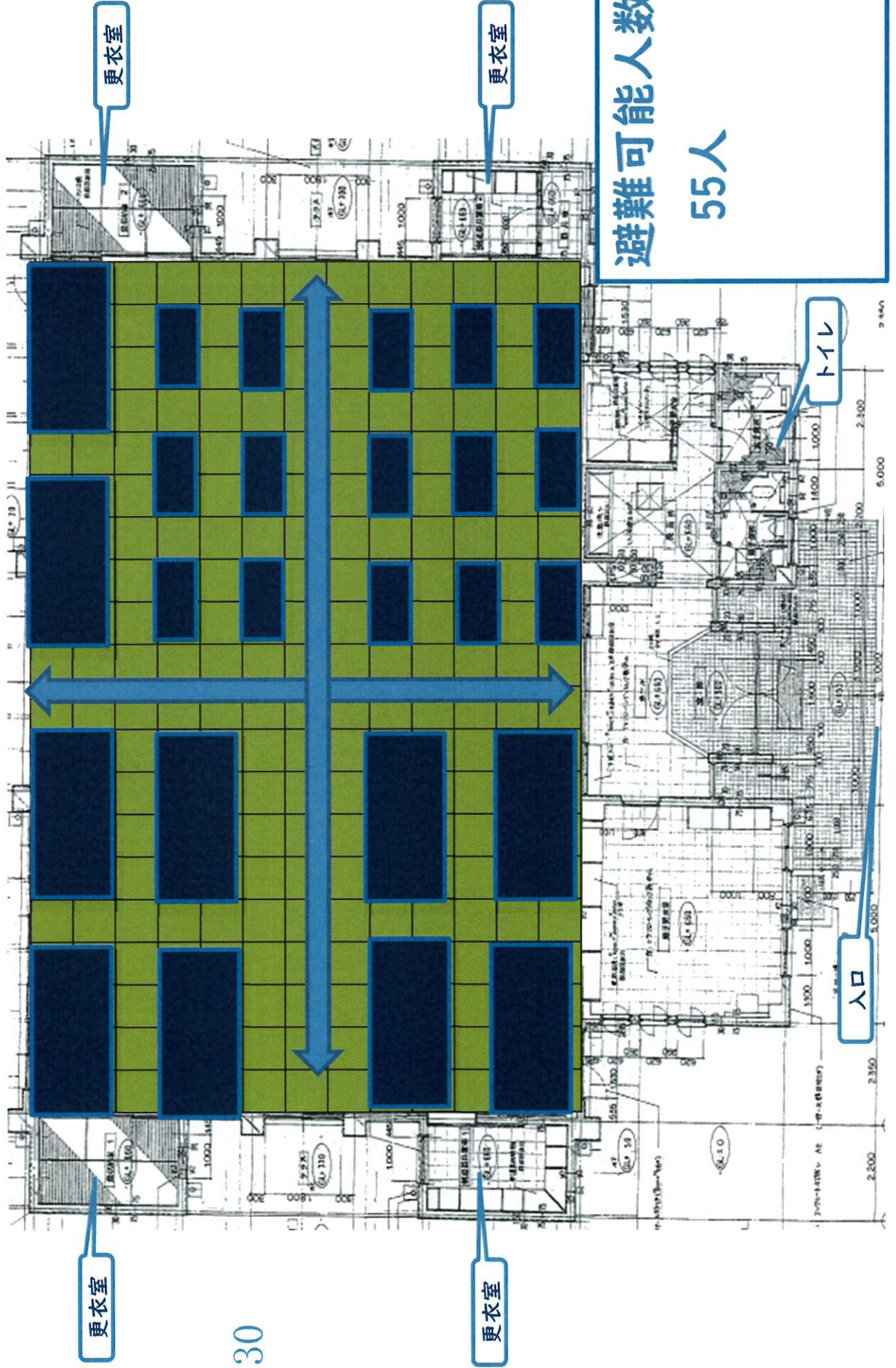


# 格技場レイアウト

238.1m<sup>2</sup>

19.36

12.30



更衣室

更衣室

避難可能人数

55人

トイレ

入口